



## ページまつり応募作品

15ページで見つけた素敵な・好きな一文	一文へのコメント	書名	名前またはペンネーム
家にある本を読み飽きて、俺は退屈していた。	本を読み飽きている方、ぜひ読んでみてください。 新しい本に巡り合えるきっかけになる本です。	葉子さんと奇妙な客人たち / 三上延 [著] (ビブリア古書堂の事件手帖)	多忙人さん
はじめは、緑色のきらきらしたあわが見えるだけでしたが、やがて、海藻が森のようにしげって、砂地でゆれうごいてるのが見えました。	他言語から訳されたとは思えないほど、ムーミン谷の海の美しい情景が頭に浮かんでくるような一文だと思います。	ムーミン谷の彗星 / ヤンソン [著]	木村ひとみさん
念願の図書館に採用されて、私は今、毎日軍事訓練に励んでいます。	“図書館に採用”されて“軍事訓練”という一見、冗談としか思えないような言葉の組み合わせですが読めばその作り込まれた世界観に驚かされるはず。そして、世界観だけではなく、この物語の中の個性的な登場人物も魅力の一つです。 “図書館”で“軍事訓練”を行う、個性的な登場人物達の物語をぜひ一度読んでみてください。	図書館戦争 / 有川浩	M. Nさん
男は顔のかたちの美醜ではなく、まず清潔感が第一だそう。	他人の恋路を邪魔しようと目論む哀れな男が言った一言。 はたして彼のたくらみは成功するのか？ それとも馬に蹴られて死んでしまうだろうか？	恋文の技術 / 森見登美彦 著	井口友香子さん
こんな夢を見た。白兔が走る。蜥蜴のビルに「スナークはブージャムだった」という合言葉を聞く。ハンプティ・ダンプティ殺害される。	意味がわからない文ですがおもしろいので好きです。	アリス殺し / 小林泰三 著	くるみさん
この人も、人々と自分というものをいつもつなげて考えていた。	この人というのは、部落解放運動の父・松本治一郎です。そして同ページに出てくる足尾銅山鉍毒事件で農民のために尽くした、田中正造の2人は、自分のことだけではなく、人々のことを重く考えている。 人々の為に尽力した2人のことをこの一文に、表しています。この一文で、2人がどういった考え方をしたのかが伝わってきます。	戦争絶滅へ、人間復活へ：九三歳・ジャーナリストの発言 / むのたけじ 著	時雨さん
母がお漬け物を漬けるのが巧くて…私も小さい頃から仕事ならひと通り…スーパーの市販品には負けにくいくらいに漬けられます。	家の味は、どこで習うでもなく母・祖母(父・祖父)から教わるもの。 その家の味を自分も習得して、自信を持てるのはすごいことだと思います。 こういう面で親から何かを受け継ぐというのが、心があたたかくなってよかったです。	ラブコメ今昔 / 有川浩 著	芙蓉紀さん
人間は誰でも猛獣使いであり、その猛獣に当たるのが、各人の性情だという。	心に響く言葉だと思いました。 このように考えられてまた表現できることはとてもカッコ良い。	山月記・李陵ほか / 中島敦 著 (読んでおきたい日本の名作・中島敦)	Yukkさん

言語の意味は、この世界の中の出来事やありさまと関係している。言語があることで、この世界は豊かになり、広がりを持ち、人びとが共有できる空間になる。	「言語」は唯一ヒトだけが駆使できるかけがえのないものだ。言語があるからこそ、家族をつくり組織をつくり生産・消費活動をしていくことができるようになったと思う。 この「言語」世のため人のためにもっと使っていただけたいと思う。	面白くて眠れなくなる社会学 / 橋爪大三郎著	本多久平さん
ご丁寧に頭までついているもの	フランスで家族に招かれ、登場した料理がウサギ	食べてはいけない! / 森枝卓土著	Mさんd
「栄養的に優れた」食事	いくら美味しくても栄養価が低ければ役に立たないもんね。	食べるアメリカ人 / 加藤裕子著	無記名
あなたの会社の社長やあなたの上司が、そういう学のあるバカでないことを祈る。	明日は我が身か。	学はあってもバカはバカ / 川村二郎著	イノケンさん
はっきりと惹かれあいながらずっと一緒にいたいと願いながら、でもそれが叶わないことだってあるということを、僕たちはもしかしたら転校の経験を通じることによって感じ恐れていたのかもしれない。	あなたはこんな恋したことありますか。	秒速5センチメートル / 新海誠著	だんご三兄弟次男さん
なぜその音に、その声に、それほど惹かれたのかはわからない。	よくわからないけど何となく気になる。それって結構大事な感覚じゃないですか。	サマー・ランサー / 天沢夏月著	杉科さん

